



元氣とタイムリーな情報を提供する

五十嵐レポート

発行:「町コン」五十嵐 勉 2018年07月30日 第880号「週刊五十嵐レポート」

経営難民の後継者

中小企業における事業承継は、同族に引き継がれるケースが多い。(後継者がいない場合はM&Aで第三者に譲渡するか廃業する)めでたく、同族の後継者がいても、財産(株式)の承継は、税務上に則ってできるが、経営の承継は、なかなか上手くいかない。経営難民の後継者を良く見かける。

それはなぜか。財産は目で見えるが、経営は目で見えないものだから。さらに社長の役目も実はよく理解していない。

経営は、何なんだろう。簡単に言うと、何を(商品)、どこ(営業地域)、誰に(業界・客層)、どのような売り方をするか(営業)、1度買ってもらった顧客に繰り返し買ってもらう(顧客維持)、これらをするのに何人の人を配置し、それらの役割分担はどうするか(組織)、これらにいくらの資金を配分するか(財務)、になる。

社長の役目は何だろう。戦国時代の武将(将軍)に喩えてみる。1. どこで戦うか、戦う相手を決める。2. 敵の情報収集をする。3. 主力兵器と補助兵器を決める。4. 中心の戦場を決める。戦場の最大範囲を決める。5. 進軍ルートを決める。6. 戦うときの陣組を決める。7. 部隊を編成し、役割分担を決める。8. 教育と訓練の方法を決める。9. 軍資金の調達と配分を決める。10. 補給の方法を決める。11. 作戦計画書を作り、事前に準備させる。これに顧客対応を加えると、社長の仕事になる。社長の仕事は戦略なのである。戦略とは、全社的な経営競争の勝ち方のルールまたは業績を良くするルール。

なぜ、「経営」、「社長の仕事」がよく解らないのか。我々は、会社に就職してからの仕事は、戦術が中心(繰り返す仕事、目に見える仕事)。戦術だけが経営であると考えている。業績不振の原因の一つは、戦略と戦術の違いを知らないことに起因している。さらに戦略には強い会社が採用する戦略と不利な会社が採用する戦略の2つがあることも知らない。つまり、戦略の欠如である。これらを学んでいくと経営が良くなっていく。

経営難民の後継者は、難民キャンプを出て独り立ちしていく。

ちょっと
気になる出来事

仕事柄、テーマごとに新聞記事のスクラップをしている。今年になって、中国に関する記事を追加した。6月以降になると、米国との貿易摩擦から特に中国の記事が多くなった。

米国は本気で中国を恐れている。「中国製造業2025」を発表してから、ものづくりはもちろん、先端技術まで米国を越えようとしている。さらに「一带一路」構想。陸から、海洋から「中華圏」の構築が進んでいる。まるで唐時代の歴史を見ているよう。

4月から私は中国語の勉強をし始めた。無性に中国に行きたくなった。米国と中国という大国(強国)に挟まれた小国(弱国)・日本は今後どのように進むべきか。まずは今の中国を見に行きたい。

6年ぶり(2012年にベトナム・カンボジア視察ツアーをして以来)、11月頃に「(習近平の野望を見る)中国最先端技術視察ツアー(月~金・4泊5日)」を企画。久しぶりに怖いも見たさの好奇心に火がついた。

関心のある方はご連絡ください。



一口メモ
知識

豊作でも凶作でも

仏教の考え方は、「どんなときにでも幸福」ということなのです。

畑をつくることも幸福、水をあげることも幸福、肥料をあげることも、雑草をとることも幸福、成長を見守っていることも幸福、実って作物を収穫することも幸福なのです。

もしも凶作になっても、いい経験を積んで心が動揺しないことを学べるから、それも幸福です。ものごとを客観的にみる人は、不幸に陥ることはありません。

「ブッダの教え一日一話」(PHP研究所/アルボムッレ・スマナサーラ)より

「戦略社長塾東京」小岩校 毎週日曜日・水曜日 午前10時~12時

「戦略社長塾東京」小岩校 土曜隔週(第2・第4) 午後2時~6時

「戦略社長塾東京」銀座校、五反田校、武蔵村山校、豊岡校 開講中。

㈱五十嵐コンサルティングオフィス 〒133-0051東京都江戸川区北小岩6-21-5

03-3659-7703 Fax03-3659-7077 i-daruma@igarashireport.com

